



## 会議レポート

### KES'99 参加報告

KES'99<sup>1)</sup> は、KES (Knowledge-based intelligent Engineering Systems) Centre<sup>2)</sup> が主催する国際会議で、8月31日と9月1日の2日間に渡って開催された。1997年以来毎年オーストラリアのアデレードで開催され、今回が第3回目となる。KES Centreは、知識ベースシステムの設計と関連する要素技術(ニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムなど)の研究を遂行することを使命として、University of South Australia に設置されている組織である。

4つのキーノートアドレスと28のセッションから構成されており、各セッションはだいたい5つくらいの一般講演からなり、全体で133の一般講演がなされた。28のセッションのうち半数以上はニューラルネットワークやファジィシステム、遺伝的アルゴリズムに関連するものであるが、それら以外のセッションとしては、たとえばグループウェアやEC (Electronic Commerce)、知識ベースシステムなど、その会議名の示す通り、Knowledge-based intelligent Engineering Systemsに関連するあらゆる分野を網羅している。

報告者は要素技術に関する講演よりも、システム全体として何ができるかを主張する講演に興味を持っている。そういう観点からみて今回印象に残った講演を2つ挙げる。

- 1) O. Fukuda, T. Tsuji, A. Otsuka and M. Kaneko による, "A Human Supporting Manipulator Using Neural Network and Its Clinical Application for Forearm Amputation": 手の不自由な人に対して、マニピュレータを用いた支援の研究が従来からなされているが、本研究では、筋細胞の活動電位を検出してマニピュレータの操作に用いるとともに、その情報を可視化してユーザにフィードバックすることにより、マニピュレータ操作技術の向上を図るものである。
- 2) Y. Ohsawa による, "Get Timely Files from Visualized Structure of Your Working History": ユーザのファイル参照履歴から、次に使用するであろうファイルを予測するシステム (KGF: Key-Graph for Files) の仕組みを解説し、評価実験の結果を報告したものの。

今回で第3回目と発展途上の国際会議であるだけに、まだまだ改善すべき点も散見された。以下に気づいた点を挙げる。

#### 1) 参加者

参加者がどの国から来ているかを一覧すると、もちろん開催地のオーストラリアが多数であるが、過半数には至っていないように見受けられた。日本、韓国、台湾、シンガポールなどのアジア諸国からの参加者がかなり多く、ドイツやスペイン、イタリアなどのヨーロッパ諸国からの参加者が少々、

アメリカからはほとんど参加していないようである。世界中のどの国からもまんべんなく参加者を募ろうとするのなら、開催地を毎年変えるべきだろう。ただし、この問題は主催者側も考えたのか、来年はイギリスで開催されるとのことで、すでに改善されつつある。

#### 2) セッションの構成

2日間の会議で発表数が133というのは少々多過ぎではないだろうか。このため、5つのセッションが並行して行われたが、聞きたい発表が重なることが何度かあった。期間を延ばすか発表数を抑えるか、あるいは、類似のテーマのセッションは同時刻に開かないよう、構成にもうひと工夫ほしい。

#### 3) 発表形態

今回は口頭発表のセッションだけであったが、デモやポスターの口が適している発表もあろう。そのような発表にも対応できるよう、多様な発表形態を用意すべきではないだろうか。

以上、いろいろと苦言を呈してきたが、基本的には和気あいあいとした雰囲気の良い会議である。なお、予稿集はIEEEから出版されている。また、次回KES'2000は2000年8月30日から9月1日に、イギリスのサセックスにある University of Brighton で開催される予定である<sup>3)</sup>。

最後に開催地のアデレードについて簡単に紹介しておきたい。オーストラリアは日本人旅行者の非常に多い国であるが、そんな中でアデレードは街を歩いても日本人らしき人に出会うことは少ないし日本語を見聞きすることもあまりない。待ち時間に依存するが、日本からだとシドニー経由でほしい12時間の行程が障壁となっているものと思われるが、新しい国の中では比較的古い建造物が残っている都市で、アデレードをベースに少し足を延ばせば、動物の楽園といわれるカンガルー島やエアーズロックもあり、オーストラリア有数のワイナリーが軒を連ねるパロツサバレーも郊外に控えており、1度でいいから訪問することをお勧めしたい。

#### 参考文献

- 1) <URL: <http://www.unisa.edu.au/pes/kes/KES99/kes99.htm>>
- 2) <URL: <http://www.unisa.edu.au/pes/kes.htm>>
- 3) <URL: <http://www.eng.bton.ac.uk/eee/research/kes2000/>>

(藤田邦彦/NTT コミュニケーション科学基礎研究所)

## オブジェクト指向 99 シンポジウム報告

7月21～23日 (於: 東工大 大岡山キャンパス)  
主催: 情報処理学会ソフトウェア工学研究会

このシンポジウムは今年で5回目を迎え、当初のフィーバはなくとも、172名の参加者を集めて開催された。主催がソフトウェア工学研究会であることもあり、シンポジウムの主旨は、ソフトウェア工学という観点からオブジェクト指向を議論する場を提供することにある。そのため、今年的一般講演では、経験論文の投稿を強く呼びかけていた。実際に投稿された論文